

# 宮廷文化に触れ、感じる装束の世界

## ～講演会と着装実演～

京都は千年以上もの長きにわたり都として栄え、雅な宮中文化が生まれ、東京の皇居以外に唯一現役の御所があります。こうした日本の歴史と皇室と京都との関わりを踏まえ、

双京構想推進検討会議(京都府 京都市 京都商工会議所)では、皇室の弥栄を願う「双京構想」の実現に取り組んでいます。

本年は、天皇陛下の御即位に係る御大礼が行われることから、御大礼を彩る装束についての講演会と着装の実演を通じて宮廷文化に触れ、感じていただける行事を開催します。



開催日時

令和元年 **8月24日[土]**  
13:30～15:30

会場

京都産業会館ホール北室  
(下・四条室町東入「京都経済センター」2階)  
地下鉄「四条」・阪急「烏丸」駅直結

対象

どなたでもご参加いただけます。  
**無料**(定員300人)

申込多数の場合は抽選。当落通知は1週間前に発送予定

### 【プログラム】

- ①双京構想について
- ②講演 田中潤(学習院大学非常勤講師)
- ③着装を実演 田中潤、岡本和彦(元宮内庁 首席主殿長)



田中 潤

学習院大学・同大学院修了。博士(史学)。専門は日本文化史。服飾を中心とした有職故実研究。学習院大学史料館EF共同研究員。学習院大学・お茶の水女子大学・杉野服飾大学非常勤講師。東京文化財研究所・國學院大學客員研究員。公益財団法人徳川記念財団特別研究員。



岡本 和彦

式年遷宮や例大祭などに奉仕し、生きた衣紋を現代に伝え続けるほか、葵祭や御所の一般公開など特殊な時代装束の衣紋を伝えることに尽力する。宮内庁で培った広範な知識と経験を生かし、広く社会に装束の魅力伝える活動に貢献している。

(敬称略)



## 双京構想とは

日本の大切な皇室の弥栄、そしてわが国の伝統を守り、文化を発展させるため、皇室の方々に京都にもお住まいいただき、政治・経済の首都である「東京」と、歴史・文化の首都である「京都」の双方で、わが国の都としての機能を果たしていくという構想

## 申込方法

### 京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)

申込受付期間：令和元年 7月18日(木)～8月11日(日)

**WEB** <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

**TEL** <sup>みなここ</sup>  
**075-661-3755** 年中無休(朝8時～夜9時)

お申し込みの際には、氏名(ふりがな)、郵便番号・住所、電話番号、  
同伴者氏名(1名まで)をお伝えください。



**FAX** <sup>ごようはここ</sup>  
**075-661-5855**

※おかけ間違いにご注意下さい。

### FAX応募用紙(宮廷文化に触れ、感じる装束の世界～講演会と着装実演～)

ふりがな	
お名前	
ご住所	〒
TEL	

同伴者がおられる場合はお名前をご記入ください。(1名まで)

ふりがな	
お名前	

